# 経理課

課長　西森千景

## １．決算対応

2024 年度の決算業務では、社会医療法人近森会、社会福祉法人ファミーユ高知、地域医療連携推進法人高知メディカルアライアンスの 3 法人の決算を行った。近森会においては当期純利益 905 百万円を確保した。自己資本比率は前期末 12.9%から当期末 15.9%へと改善した。

## ２．法人資産運用

前年に「近森会資金運用規程」を策定し、2025 年 3 月から野村證券（野村信託）、4 月から大和証券で投資一任契約による資産運用を開始した。開始直後の 4 月にはトランプ関税ショックによる世界的な株安や金融市場の混乱により評価損が発生したものの、その後は回復し、年末まで概ね順調に運用されている。また 2025 年 7 月から看護学校の資金の一部についても投資信託による運用を開始した。国内では円安の進行、インフレ、金利上昇が続いており、経営環境は厳しくなっているため、引き続き法人資産運用による資産価値の維持・向上に取り組んでいきたい。

## ３．役員改選

法人役員の任期が 2025 年 12 月末までであり、戎理事、吉村監事が任期満了による退任となり、2026 年 1 月からは新たに根岸正敏副院長、杉本健太郎副院長、藤田徹也氏（テレビ高知代表取締役社長）が理事に、西尾友和氏（司法書士、行政書士）が監事に就任した。

## ４．薬剤棟、空中通路建設に伴う融資

近森病院増築工事（薬剤棟、空中通路）ほか建設資金について、四国銀行、高知銀行によるシンジローン（ソーシャルローン）10 億円を締結し、建設資金の調達を行った。

## ５．電力料金の契約交渉

電力小売りとの 3 年契約について 7 月末で期限となるため、電力調達先の見直しを検討した。相見積りを実施し、契約条件の交渉を行った結果、従来の電力小売り会社との契約となったが、年間 5 千万円ほどの値引きを引き出すことができた。

## ６．薬剤師奨学金返還支援制度

2025 年 11 月から高知県の補助金制度とあわせて近森会薬剤師奨学金返還支援制度がスタートした。薬剤師の確保のため、薬剤部と連携して制度設計、制度運用に取り組んだ。

## ７．人事

経理課には服部、谷、濵崎、大神、中山、西森の 6 名が在籍。
2025 年中の人事は以下の通り。

2 月　服部早苗 主任心得　　主任昇格

## 総括

入江理事長が立案された各種プロジェクトの推進に取り組んだ。法人資産運用の開始、決算対応、建設プロジェクト等について多忙な時期が続いたが、一定の成果につながった。経理課においては各種施策を推進するためのマンパワー不足を補うため人材を確保しつつ、DX 並行して取り組んでいきたい。